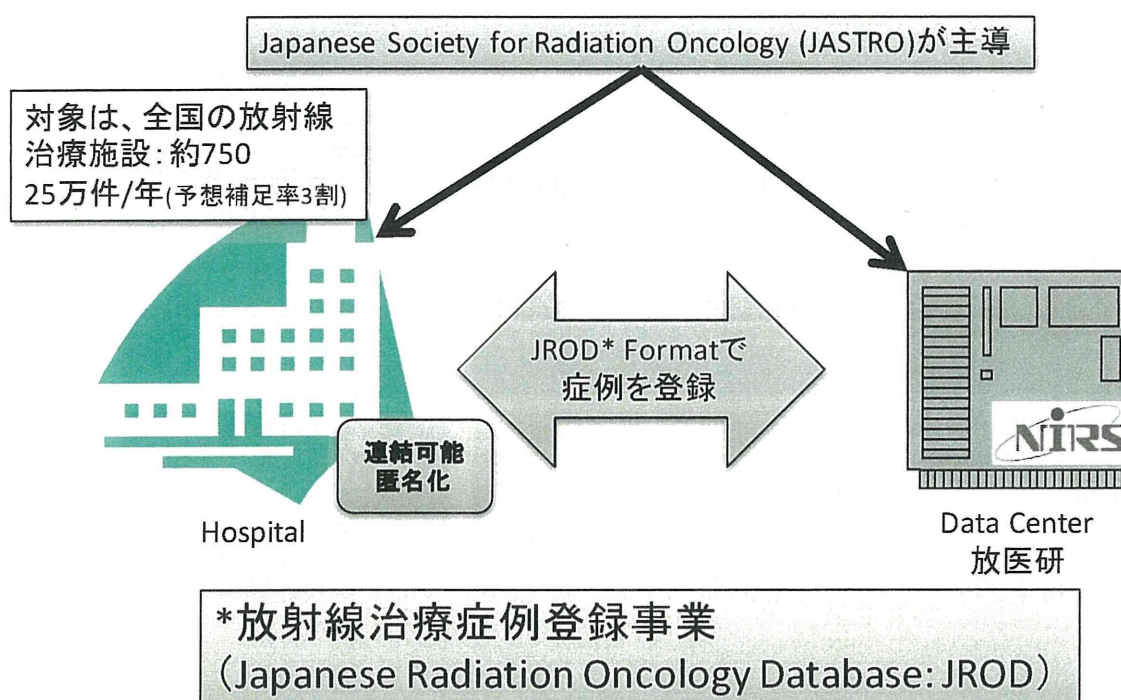


全国放射線治療実体調査

- (1) 構造調査
 - × 全国の放射線治療を行っている施設の概要
 - × 分野別症例数、装置別の症例数
 - × 装置やマンパワー
- (2) 症例登録(放射線治療症例登録事業
Japanese Radiation Oncology Database:
JROD)
 - × 全例登録を目標
 - × 病名、Stage、総線量、照射部位など
 - × 一年単位でデータセンターへデータを転送

3

医療機関、データセンター(NIRS)とJASTROの関係



4

粒子線治療Registry(仮称)

- 現在先進医療として施行されている粒子線治療(陽子線・重粒子線)の全例を登録し、保険収載へ向けたエビデンスを提供するためのデータベース。
- 先進医療A'で行うための必須要件
 - × 全例登録
 - × 臨床試験で用いられるElectronic Data Capture (EDC)に準ずる機能(電子保存3原則)を提供する
 - × 2016年4月よりシステム稼働
 - × 定めた期間に渡りフォローアップデータを入力
- JASTROと放医研の覚書の範囲で実施

粒子線治療Registry(仮称)の実現方法

- Electronic Data Capture (EDC)機能の要件
 - × 利用者の認証と権限付与
 - × データの真正性、見読性、保存性の確保
 - × 不正アクセスなどの防止(漏えい防止機能含)
 - × 修正履歴
 - × モニタリング
 - × 監査
- 放医研で検討した実現方法
 - × 放医研の既存のDBを改修して、EDCの要件を満たすように改修する(費用、EDC機能の改修期間、メンテ作業する人材に不安がある)

JRODと粒子線治療Registry(仮称)の比較

	JROD	粒子線Registry
目的	実態調査	粒子線治療のエビデンスを確立する
追跡調査	Optional	Mandatory
セキュリティ	Optional	EDCに準ずるセキュリティが必要
データ項目	X線治療に最適化	粒子線治療に特化した項目が必要

- JRODとRegistryを比較すると、Registryは粒子線治療に特化した項目が必要であり、登録する項目や入力時のセキュリティが違いため、共通のシステムでは、構築が困難である。

JRODのデータ項目

- 患者情報: 12項目(カルテ番号、氏名など)
- 患者付帯情報: 8項目(PS, 重複癌)
- 疾患情報: 29項目(病名、病理[ICD-O]、Stageなど)
- 治療情報: 55項目(治療方針、併用療法、線量、回数、日数、外部照射/小線源照射/非密封、治療効果)
- 予後情報: 25項目(生死、確認日、再発、有害事象[グレード、確認日、部位])
- 合計129項目

JRODの匿名化

- 患者情報：参加施設側で連結可能匿名化する。台帳管理は、参加施設が行う。
 - × 院内管理コード：R 連結可能匿名化したコード
 - × 院内番号
 - × 放射線治療番号外部照射
 - × 放射線治療番号小線源
 - × 患者氏名 漢字
 - × 患者氏名 カナ
 - × 性別：R
 - × 生年月日
 - × 治療開始時年齢：R
 - × 治療開始時郵便番号
 - × 治療開始時都道府県
 - × 治療開始時住所

JROD項目の仕様

- 日本IHE協会 Radiation Oncology委員会が詳細な仕様を作成し、White paperで公開する予定。
- 内容：
 - × 選択肢
 - × 文字数
 - × 許容する文字種類
 - × Mandatory/Optional の区別
など

現状の放射線治療DB

- 放射線腫瘍学会が主導して行っている症例登録には、2種類。これらについては、一部データの共有を行う予定。

- × 症例登録(放射線治療症例登録事業
Japanese Radiation Oncology Database: JROD) : 2015
年10月より

- × 粒子線Registry : 2016年4月より

- 課題

- × 患者基本情報の共通化

- × 複数施設に渡る患者の名寄せ

- × 院内がん登録や地域がん登録への連携

脳神経外科症例登録 資料3

Japan Neurosurgery Registry on NCD

1. JNR症例登録推移とシステム改修状況
2. JNR症例のフィードバック
3. JNRと連携したPMS

脳神経外科症例登録

Japan Neurosurgery Registry on NCD

1. JNR症例登録推移とシステム改修状況

JNR症例登録の推移

2015年9月末時点で以下の通りである

入力完了症例数25,311件

入力途中症例数74,829件(完了症例数も含む)

症例登録DB本体の追加開発状況

- ・2015年の未破裂動脈瘤症例に対しての1年後フォローアップの登録が間もなく開始される
- ・2016年1月からの登録の項目改定の準備中(主に術式情報)

脳神経外科症例登録

Japan Neurosurgery Registry on NCD

2. JNR症例のフィードバック

日本脳神経外科学会施設定期報告システム

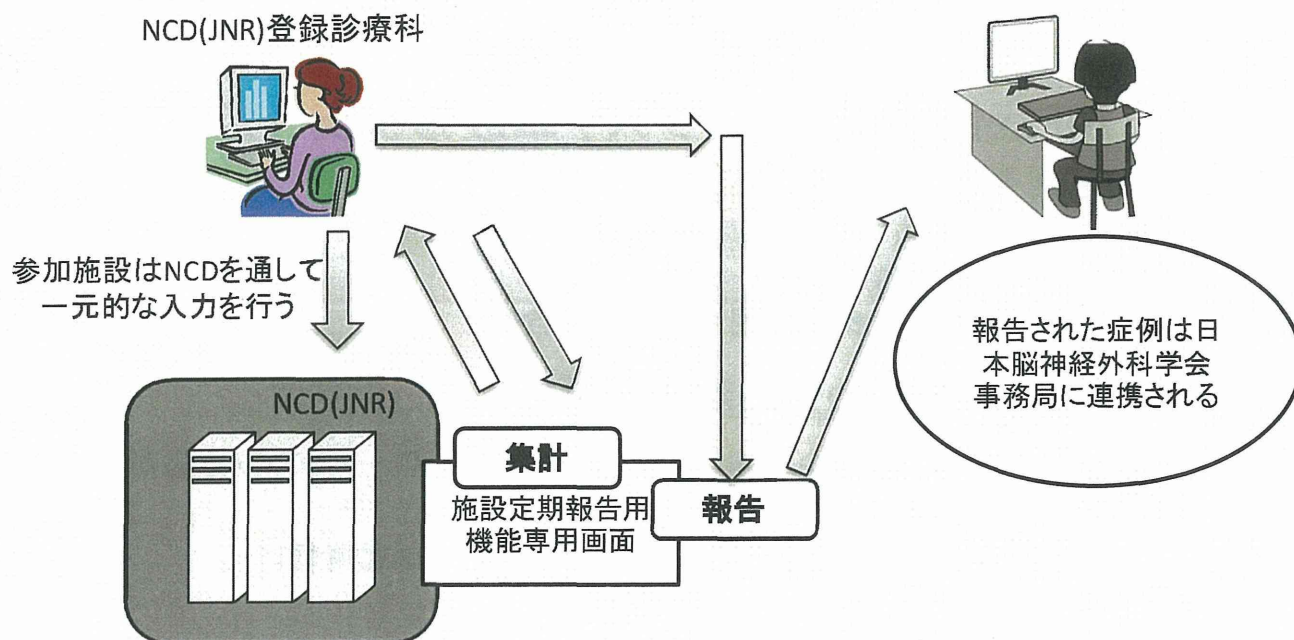
JNR登録症例を用いて、日本脳神経外科学会の施設定期報告を各施設での自動集計と学会への報告が自動で行えるシステムの開発を進めており、2016年2月～3月にリリース予定

脳神経外科医個人の経験症例を閲覧、検索システム

日本脳神経外科学会員の医師個人が自身の経験症例数を確認できるシステムの構築の準備中

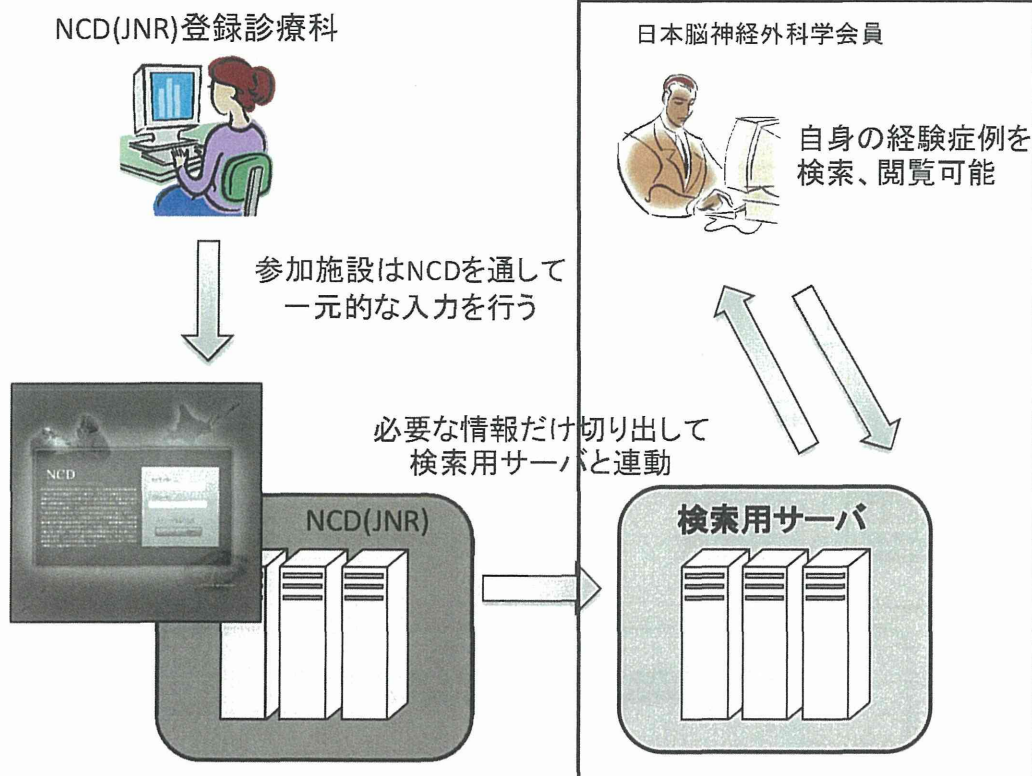
2. JNR症例のフィードバック

日本脳神経外科学会施設定期報告システム



2. JNR症例のフィードバック

脳神経外科医個人の経験症例を閲覧、検索システム



脳神経外科症例登録

Japan Neurosurgery Registry on NCD

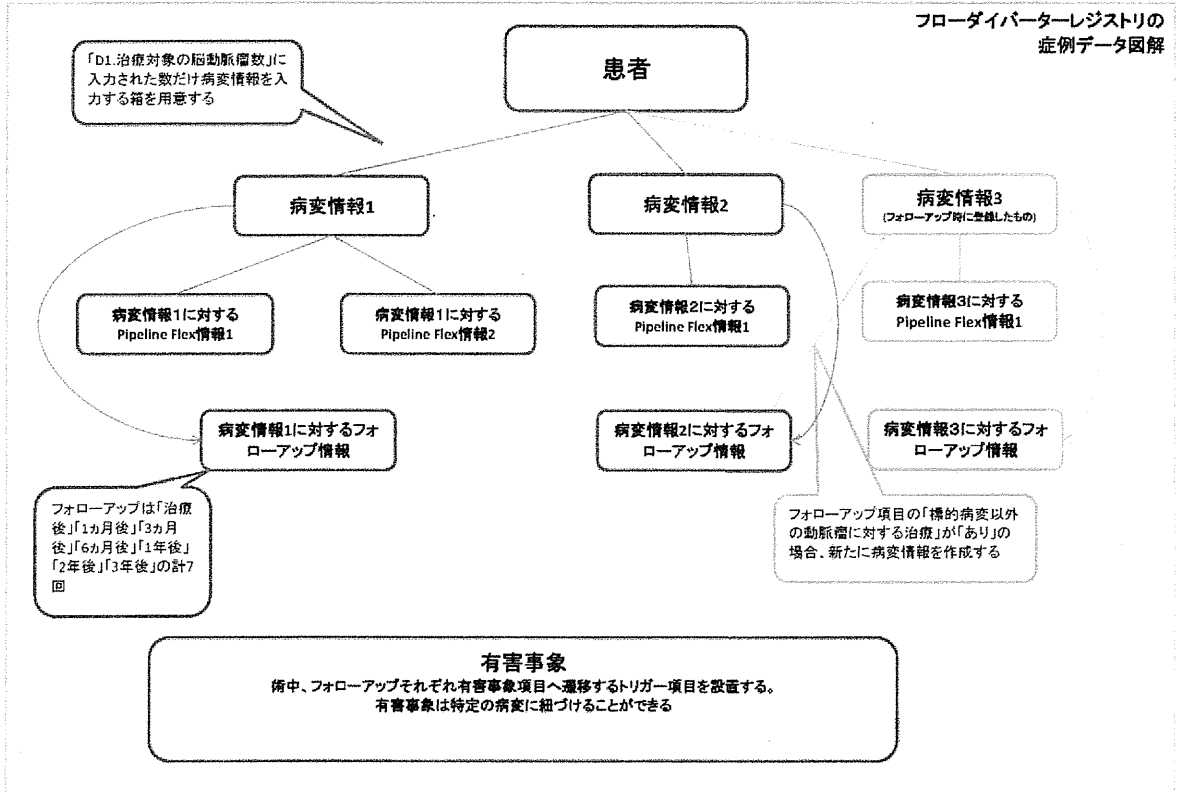
3. JNRと連携したPMS

フローダイバーターレジストリ

2015年4月初旬よりDB項目設計やDBシステム運用の検討に参加している。現在は、Flow Diverterデータベース管理委員会(日本脳神経外科学会、日本脳血管内治療学会、日本脳卒中学会から構成)が研究計画の内容を精査中

3. JNRと連携したPMS

フローダイバーターレジストリ



臨床効果データベース (救急領域統合データベース) 整備事業

一般社団法人 日本救急医学会

救急医療を取り巻く課題

(必要な対策)

○年間500万件を超えなお増加する救急搬送への対策

○特に高齢者救急患者の増加への対策

○増加する傷病への対策

○特に緊急性の高い傷病の予後向上に寄与する方策

○その他の社会的対応を要する救急傷病についての対策

救急医療体制の
改善

救急傷病に対す
る効果的な診断、
治療法の開発